

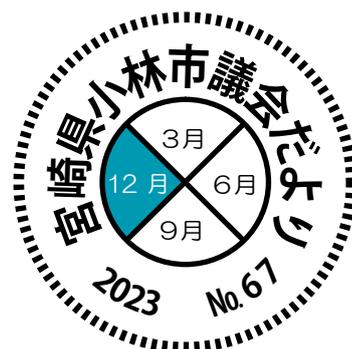
はなみずき

「はなみずき」の花言葉には「私の想いを受けとめてください」という意味があります。
また、小林市にあふれる「花・水・木」など、いろいろな思いが込められています。



鬼は〜外
福は〜うち

- 委員会審査報告 …… P 2 ~
- 表決結果一覧 …… P 4 ~
- 一般質問 …… P 6 ~
- これ、知っちゃった? …… P 12 ~
- 表紙のひとコマ …… P 14
- 市民の声 …… P 14
- 語り継ぐ小林の歴史 …… P 15
- 能勢 誠 議員のイチオシ! …… 裏表紙



令和6年2月1日発行

経済産業
分科会・委員会

◆デザインビルド委託契約（委託契約の締結）
 健幸のまちづくり拠点施設整備事業デザインビルド業務委託契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

◆委員会の意見として決定した事項◆
 健幸のまちづくり拠点施設の整備に当たっては、整備を契機とした健幸のまちづくりと国民スポーツ大会及び障害者スポーツ大会の機運醸成を図ることはもとより、「市民の誰もがいつでも気軽に訪れ、スポーツ・健康づくり・子育てを行うことができる拠点施設の整備」という基本理念を具現化するためにも、今後、対話型の説明会を含め、あらゆる手段を利用して市民に周知し、理解が得られるよう努めることを強く求める。

ついでに、市民への周知方法等に関し、具体的な内容が決まり次第、全員協議会において説明されたい。

また、スケジュール通りの完成・供用開始とするため、信号設置や公共交通の整備など、関係機関との調整に時間を要すると想定されるものについては、早期に調整するなど進捗管理を徹底すべきである。

委員会
審査報告

☑ 令和5年度一般会計補正予算（第8号）
 補正額 7億7,737万7,000円の増額

☑ 令和5年度一般会計補正予算（第9号）
 補正額 5億7,319万7,000円の増額

このほか、次の議案を委員会に付託し審査しました。

- 特別会計補正予算 3件
- 条例改正議案 8件
- 指定管理者の指定を含むその他議案 7件

徹底討論

議論の様子は
こちらから▼

議案第94号 委託契約の締結について
 （健幸のまちづくり拠点施設関連議案）

反対4名、賛成4名による討論が最終日の本会議で繰り広げられ、採決の結果、賛成多数で可決されました。（表決結果一覧表は次のページ）



賛成討論

老朽化した5施設の複合化によって、有利な起債、交付金の活用ができ、また国の整備モデル事業にも認定され、国民スポーツ大会の会場となることで財政負担の削減が図れるとの答弁を受け賛成する。

小川 真 議員

拠点施設整備補助対象約49億円の50%約24億円、残額の起債も約11億円補助があり、実質約17億円の市負担額。予算の内訳や整備の具体的な内容の周知の為、市民への対話型説明会開催を強く要望した上で賛成する。

野田 利典 議員

雇用機会の増加、新たな収益源が生まれ地元業者にビジネス機会が広がる。住民は子育て、教育、スポーツなど様々な面でサービス享受できる。また、小林市の交流人口増の機会創出を仕掛けることができ、賛成。

堀 研二郎 議員

別々にあった機能を複合化し、体育館・避難所機能、保健センター・子育て拠点の健康づくり機能の複合化は全国的にも先進的。財源は防災公園やモデル公園形成支援の事業費補助や有利な地方債を活用しており、賛成。

原 勝信 議員

反対討論

新しく十三塚にできる拠点施設には、「複合化」されるはずの5つの施設のうち、「みどり会館」と「勤労青少年ホーム」の機能が含まれていない。それらの施設の今後の見通しを、契約と同時に市民に示すべき。

橋本 律子 議員

市民体育館は老朽化している。新築に反対ではないが、今の場所だから市民の利用が多い。建設計画が国スポに合わせ進められ、一番大事な市民の理解が得られていない。知らない市民が多くいることは問題。

大迫 みどり 議員

市民への説明を十分に行うため、委託契約の議案上程を令和6年3月議会へ先延ばしにし、その間に市民との直接対話を含む十分な説明の機会を設け、市民アンケートやパブリックコメントの外部評価を行うべき。

能勢 誠 議員

市民への説明会や意見交換会など、市民との対話が足りない。市民が納得した、より良い施設を建設してほしい。この施設が負の遺産とならないよう、より多くの市民と対話し、市民の声を十分に反映させるべき。

前田 隆博 議員

総務文教
分科会・委員会

◆小林市の認知度向上（シティプロモーション推進事業費 840万円）
 本市の関係人口の拡大を目的に東京、大阪及び名古屋において本市のPRイベントを行い、Tシャツ等公式PRグッズや農産物加工品などを販売するもの。また、イベントには若手職員も同行し、人材育成を図る予定。

◆委員からの意見◆
 「ハッシンコバヤシ！！プロジェクト」により得た成果を生かし、ふるさと納税のさらなる獲得につながるよう本市の認知度向上に努められたい。

◆災害時の作業効率化を図る（消防団運営事業費（臨時） 約37万円）
 ドローン2台を配備し、行方不明者の捜索や災害時の作業効率化を図るほか消防団の広報に活用するなど、幅広い用途で使用するもの。

◆委員からの意見◆
 ドローンを効果的に活用できるよう操作マニュアルを整備するとともに、有資格者による高い専門性を持つ機能別消防団員の確保を図られたい。

市民厚生
分科会・委員会

◆対象者に早めの支給へ（電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（追加給付分）事業費 約5億3,301万円）
 令和5年度分の住民税均等割が非課税である世帯に対し、1世帯当たり7万円を支給し、経済的負担の軽減を図るもの。

Q 支給までのスケジュールは。
 A 1回目の支給を1月末に予定。

◆委員からの意見◆
 対象者には準備が整い次第、速やかに支給されたい。

◆須木地区の保育機能維持へ（公の施設に関する条例の一部改正）
 須木中央保育園を令和6年度から小規模保育事業を行う施設へ移行することに伴い、所要の改正を行うもの。

◆委員からの意見◆
 須木地区の保育機能を維持するとともに、園児獲得のため独自のサービスにも取り組まれたい。

議案番号	議案名	表決結果
議案 107	【12月19日追加議案】 市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 ・特別職の職員の給与に関する法律の一部改正による特別職の国家公務員の給与改定に準じて、議会の議員の期末手当の改定を行うもの	原案可決 (全会一致)
その他 議案 88	大淀川左岸地区国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託の廃止に関する協議 ・大淀川左岸地区国営造成施設管理体制整備促進事業の事務の委託を廃止することに関し、宮崎市と協議をすることについて、議会の議決を求めるもの	原案可決 (全会一致)
議案 89～93	指定管理者の指定 ・小林市コミュニティバス ・小林市西ノ原農村集会所 ・小林市堤下構造改善センター ・北きりしま物産センター ・須木歯科診療所	原案可決 (全会一致)
議案 94	委託契約の締結について ・健幸のまちづくり拠点施設整備事業デザインビルド業務委託契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの	原案可決 (賛成多数)
意見書 意見書 4	【12月19日議員提出議案】 HPVワクチン接種政策の充実を求める意見書	原案可決 (全会一致)

◆表決の分かれた議案の議員別賛否一覧◆

「小林市議会の運営に関する基準」に基づき、提案された全議案に対して、各議員の表決態度(賛否)を公表しています。掲載に当たっては、次のとおりです。
(○:賛成 ●:反対 欠:欠席 除:法律により採決に加われない者 ー:議長は表決には加わらないため)

議案番号	議案名	堀研二郎	小川真	能勢誠	野田利典	松嶺勇一	橋本律子	永野雅己	金松勲	有木将吾	押領司剛	前田隆博	貴嶋憲太郎	竹内龍一郎	舞田重治	吉藤洋子	原勝信	鎌田豊数	大迫みどり	高野良文	表決結果	
条例関係 議案 80	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 82	手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他 議案 94	委託契約の締結について	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

意見書案第4号

HPVワクチン接種政策の充実を求める意見書

【意見書の概要】

子宮頸がんは、HPVワクチンによって予防できるがんで、現在、各市町村でも独自の取組で接種率向上に努めているが、キャッチアップ接種(※)の取組などの周知が行き渡っているとは言い切れない状況である。

国に対し、女性活躍社会や若い女性の命と健康を守ることにつながるHPVワクチン接種に関する政策の充実を強く要望する。



★意見書全文はこちら▶▶▶

【結果】

本会議で押領司 剛 議員から提案理由説明があり、採決の結果、全会一致で可決、関係行政庁へ送付しました。

(※)キャッチアップ接種とは、国の積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方を対象に公費で実施する予防接種のこと。

◎議案の内容はこちら▼

開会日	12月8日	12月19日
提出議案	追加議案	追加議案

◎本会議の様子は録画配信しています。

12月定例会の録画配信ページはコチラのQRコードから⇒⇒⇒



◆◆◆お知らせ◆◆◆

令和5年12月19日付で会派の異動がありました。

- 立新会(構成員数の減) 8名⇒6名
- 新生会(新規結成) 構成員2名
- 代表者 能勢 誠 議員
- 経理責任者 前田 隆博 議員

議案番号	議案名	表決結果
報告案件 報告 7	専決処分した事件の報告について ・市道23号種子田・深草線において市有車両と一般車両が接触した事故について、和解し、損害賠償の額を定めたもの	報告に対する 質疑をもって終了
R5 補正予算 議案 76	一般会計補正予算(第8号)	原案可決 (全会一致)
議案 77	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案 78	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案 79	後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議案 95	【12月8日追加議案】 一般会計補正予算(第9号)	原案可決 (全会一致)
議案 96	【12月19日追加議案】 一般会計補正予算(第10号)	原案可決 (全会一致)
議案 97	【12月19日追加議案】 国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議案 98	【12月19日追加議案】 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案 99	【12月19日追加議案】 介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議案 100	【12月19日追加議案】 後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案 101	【12月19日追加議案】 水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議案 102	【12月19日追加議案】 下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議案 103	【12月19日追加議案】 病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
条例関係 議案 80	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 ・生活保護法に準じて実施する外国人に対する生活保護の措置について、番号法の規定による本市の独自利用事務として定めるため、所要の改正を行うもの	原案可決 (賛成多数)
議案 81	国民健康保険税条例の一部改正 ・全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、出産被保険者に係る国民健康保険税の所得割額及び被保険者均等割額を減額するため、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 82	手数料条例の一部改正 ・戸籍法の一部が改正されたことに伴い、戸籍謄本等の広域交付に要する手数料等を徴収するため、所要の改正を行うもの	原案可決 (賛成多数)
議案 83	公の施設に関する条例の一部改正 ・須木中央保育園を認可保育所から小規模保育事業へ移行することに伴い、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 84	市立幼稚園、小学校及び中学校設置条例の一部改正 ・野尻幼稚園の幼稚園機能を社会福祉法人が運営する認定こども園に移管するに当たり、その用途を廃止するため、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 85	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正 ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める内閣府令の一部が改正されたことに伴い、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 86	介護保険条例の一部改正 ・令和6年度から介護保険料の暫定賦課を廃止するため、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 87	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正 ・令和6年度から農業集落排水事業に地方公営企業法の全部を適用するため、所要の改正を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 104	【12月19日追加議案】 一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 ・人事院勧告による一般職の国家公務員の給与改定に準じて、本市の一般職の職員の給料表、期末手当及び勤勉手当の改定を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 105	【12月19日追加議案】 常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正 ・特別職の職員の給与に関する法律の一部改正による特別職の国家公務員の給与改定に準じて、市長、副市長及び教育長の期末手当の改定を行うもの	原案可決 (全会一致)
議案 106	【12月19日追加議案】 病院事業管理者の給与等に関する条例の一部改正 ・特別職の職員の給与に関する法律の一部改正による特別職の国家公務員の給与改定に準じて、病院事業管理者の期末手当の改定を行うもの	原案可決 (全会一致)

教育行政の現状と課題



立憲民主党
竹内 龍一郎 議員



詳しくは
こちらへ

収蔵率とは、図書を収めるスペースがどれだけ埋まっているかを示す率のこと。値が大きいほど余裕がない状況。



問 市立図書館の蔵書の現状と対策は。

答 令和5年4月1日時点の収蔵率は、本館が103.6%、須木分館が98.5%、野尻分館が98.4%。収蔵率が高いことは認識している。現在、除籍基準の見直し、未使用施設の活用や貴重な資料のデジタル化などを検討している。

問 築40年以上経っている本館の建て替えは。

答 施設の長寿命化を含め、社会教育施設の総合的な整備を検討している。

市立図書館の現状と今後



図書館整備は長寿命化を含め検討

問 不登校の現状と対策は。

答 令和5年10月末現在で小学生19名、中学生35名。家庭訪問及び保護者や本人との面談により、原因を確認しながら対応している。

問 不登校が解消した件数とその方策は。

答 本年度、小学生が6件、中学生が3件の合計9件が解消した。学校とスクールソーシャルワーカーが子ども達に熱心に働きかけたり、スクールカウンセラーが傾聴を繰り返すことで原因が分かり、解消につながった。

小中学生の不登校

スクールソーシャルワーカーとは、児童生徒が抱える問題の解決を図る専門職のこと。**スクールカウンセラー**とは、児童生徒や教師、保護者などに対して、心のケアを行う専門職のこと。



一般質問

市民の声を市政へお届け



質問
…
答弁
…
意見

議員が日ごろの議員活動を通して疑問に感じていることや改めたいこと、実現すべきことについて質問・提案し、市長・部長等が答弁します。
12月定例会では11人の議員が質問しました。
※一般質問者の各QRコードから、録画配信をYouTube（ユーチューブ）でご覧いただくことができます。



安心安全なこばやしに



北霧島政新会
たかの よしふみ
高野 良文 議員



詳しくは
こちらへ

問 令和5年4月1日から全年齢で、自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化された。市民への周知・啓発は。

答 全国交通安全運動期間や自転車マナーアップ強化月間等で、区・組へのチラシの回覧と防災ラジオ等での啓発を行っている。

問 宮崎県のヘルメット着用率は全国で32番目という資料がある。自治体によっては、ヘルメット購入の際に補助金を出しているが、本市での考えは。

答 補助については現在予定していないが、他の市町村の状況を踏まえて、今後の研究課題とした。

自転車用ヘルメットの着用



自転車用ヘルメットのいろいろ

美しいチョウが来るまちに

問 フジバカマにアサギマダラが飛来する感動を子ども達にも味わってもらいたい。小中学校にフジバカマを植栽できないか。

答 学校の花壇については、学校側が主体的に苗を選んで植栽するものとする。今後、校長会等を通じて事例を紹介し、周知する。

フジバカマとは、キク科ヒョドリバナ属の多年生植物であり、秋の七草の一つ。**アサギマダラ**とは、はねに淡いあざき色のまだら模様がある大型のチョウのこと。



世界はすでに食料危機



日本共産党
おおさこ
大迫 みどり 議員



詳しくは
こちらへ

問 公共施設の予約が入っていない時に高齢者の利用料を免除して利用できないか。

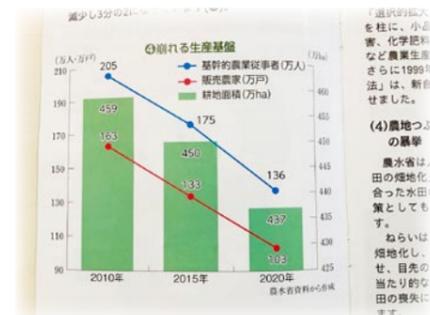
答 高齢者の健康づくり推進を

問 食料自給率の向上と持続可能な農業経営に向けた施策の検討が必要では。

答 食料自給率は、国においてもほとんど議論されてない。市として農業で生活が成り立つよう、しっかりと対応ができるようにしたい。

問 小規模農家など多様な担い手の育成や農家所得の向上が課題と捉え、研究し対策を講じたい。

答 本市の基幹産業である農畜産業は、物価高騰に見合う農畜産物の価格が保障されず厳しい経営状況であるが、対策は。



農家も農地も激減で食料守れない

問 高齢者が気軽に施設を利用し、健康を維持してもらおう観点で考えてもらいたい。

答 体育館というと児童生徒は減免されている。高齢者も減免となると、使用料を払っていた年齢層が限られてくる。施設管理の面などもあるため、今後検討したい。

問 公共施設については、利用者と未利用者との負担の公平性の観点から使用料を徴収しており、市民が納得できる形で検討していく必要がある。

自衛隊への情報提供は



夢に向かって 進路はいろいろ

自衛隊への個人情報提供

問 自衛隊に自分の個人情報を提供しないでほしいという方々への対応は。

答 市のホームページに除外申請書の様式を掲載し、令和6年2月から3月の期間で受け付ける予定。受付方法は広報紙でも周知していきたい。

意 自衛隊に名簿提供をしているということも含め、広く市民に伝えてほしい。



にほんきょうさんとう
日本共産党
はしもと りつこ
橋本 律子 議員



コ詳
チラ
クは

市公共施設と訓練広場



りつしんかい
立新会
おがわ まこと
小川 真 議員



コ詳
チラ
クは

公共施設の今後

問 5つの施設を統廃合し、複合施設として健幸のまちづくり拠点施設を建設予定であるが、今後の財政運営に問題は無いのか。

答 公共施設の半数以上が築30年以上で、今後さらなる老朽化や人口減少、需要の変化により、財政等への影響が考えられる。これを踏まえ、公共施設等総合管理計画では、長期的な視点を持って施設の更新・統廃合を進めるとともに、市民サービスへの影響を最小限に抑えるとしている。今後10年間の財政計画では人口減少に伴う市税の減収が見込まれるものの、真に必要な投資と財政健全化を両立しながら、持続可能な財政運営が

図れると考えている。また、拠点施設建設に係る事業費については、有利な補助金や起債の活用により、市の負担も大幅に軽減できると認識している。

消防行政について

問 令和元年に水槽の水質が消防車両に適さないことや遠方の消防団員の負担軽減を図るため、訓練広場を移転してほしいとの話があったが、その後の対応は。

答 新型コロナウイルスの影響もあり、操法大会や訓練の在り方も大きく変わったことから、現在移転は検討していない。



健幸のまちづくり拠点施設予想図

補聴器購入助成を

問 健診の際にチェックシートを用いて難聴の大まかなレベルを伝えられないか。

答 関係各所との協議・調整や予算確保の面から、健診に追加するのは難しい。ただ、本人に聞こえの状態を示して受診の必要性を認識してもらうことは重要だと考えるため、研究したい。

問 何百万円という財源を準備しなくても、困っている人たちにまず購入助成への道を拓くことが肝心ではないか。

答 目や歯など全てが対象となるようなもので、財源確保ができないと難しい。

意 補聴器は医療機器なのに、眼鏡などに比べて高額なことから補助を求めていることを理解していただきたい。

直接対話による説明を



きたさきりしませいしんかい
北霧島政新会
のだ としり
野田 利典 議員



コ詳
チラ
クは

健幸のまちづくり拠点施設

問 市民との直接対話による説明責任を果たすべきではないかと提案したが受け入れられなかった理由は。

答 今後、整備内容については、本庁舎、野尻庁舎、須木庁舎に一定期間パネルを設置し、職員が説明できる場を設ける予定である。

問 新施設のネーミングライツ(命名権)募集の考えは。

答 導入した自治体では財源確保による負担軽減が図られるが、一方で契約が短期的になった場合に、施設の名称が短期間で変わってしまう可能性や、応募がない場合もあることから、今後研究課題としたい。

ごみ分別軽減の検討を



りつしんかい
立新会
のせ まこと
能勢 誠 議員



コ詳
チラ
クは

問 ごみ分別が移住や定住を妨げ、若い世帯が組加入しない理由となっているとの意見や、高齢化により分別が難しい人も増えているという意見がある。財政的及び環境負荷に対するメリットなどを総合して、分別の見直しが必要と感じているが、廃プラの分別緩和について市長の考えは。

答 平成30年10月から、チューブ類などを燃やすごみとして処分し、負担軽減を図っている。県内9市の中で特別に負担が大きいとは考えていない。

問 緩和することで、市民は喜び、住みたいまちになると思うが。

答 分別についてはこれまで市民にお願いしてきており、

大きく変更するにはそれなりの理由が必要。現段階では、今の分別方法を続けていく。

空き家解消と移住定住促進

問 移住定住促進のため、市が整備した空き家を活用したお試し住宅や施設(ゲストハウス、シェアスペース、カフェなど)をきずな協働体が自主財源を確保しつつ運営する仕組みを検討できないか。

答 地域がどのような方策をとりたいか、こういった取組ができるかを地域と意見交換しながら検証していきたい。

次の3種類(ラップ類、チューブ類、小袋類)を「燃やすごみ」として扱います。
ただし、中身のきれいな物は 今までどおり「プラスチック製容器包装」で出してください。

平成30年10月1日から



さらなる分別の簡素化を



ネーミングライツのイメージ

人口減少対策は

問 毎年600人前後の人口が減少している。企業誘致で人材を都市部から補っている自治体もあるが、本市の状況は。

答 令和2年度1社、3年度2社、4年度2社の誘致。事務系の事業所の誘致を積極的に展開し、現在、IT企業3社と協議を進めている。

問 農家民泊の現状は。

答 受入れ会員数は、小林市8戸、えびの市17戸、高原町6戸の計31戸。受入れ会員を増やすため、様々な団体等に協力いただいている。

福祉バス利便性向上へ



立新会
松嶺 勇一 議員



野尻地区の福祉バス調査

問 年一回のアンケート調査結果から見えてくる課題点及び利用者のニーズに添った路線設定の考えは。

答 利用者の9割が70歳以上の高齢者で、ほとんどが一人暮らしか夫婦のみの世帯の方。通院と買い物での利用が多く満足度は高いが、市の中心市街地に直接行けない、通院の日と運行する曜日が合わないなどの意見もある。アンケート調査での意見や利用実態をもとに、路線の変更や拡大、ダイヤ改正の見直しを検討したい。

問 県地域公共交通計画（素案）の中にある持続利用促進策に対し、市として早めに取り組む可能性はあるか。

答 素案の中で新設することが示されている利用促進協議会とも連携しながら、本市の地域公共交通計画に基づいて引き続き利便性の向上、維持確保を図っていく。

国スポカヌー競技会場整備

問 小野湖が開催地として内定するに至った経緯とポイントは。

答 令和5年4月に県カヌー協会の意向で依頼を受け、協議の結果、6月に内諾書を提出し、7月に承認・内定となった。整備することで今後の活用が見込まれ、須木地区の活性化につながる。



車内でのアンケート調査の様子

医師の働き方改革対応



創生こばやし
原 勝信 議員



問 2024年から医師の働き方改革が進む。本市には国県の病院がなく、市立病院への影響が心配される。内科・小児科や土日祝日の対応、また西諸医師会に協力いただいている平日夜間の診療や緊急的な受入れを含め、その影響は。

答 市立病院でも時間外労働の上限規制や健康確保措置の適用がされる。小児科や休日、夜間帯の一部で大学等から医師を派遣いただいているが、労働時間は派遣元と派遣先で通算されるため、時間外労働の上限に抵触するおそれもある。そうならないため、令和5年4月に労働基準監督署に許可申請を行い、現在は結果を待っている状況である。

人口減少対策

問 0歳から2歳の子ども達は幼児教育保育の無償化の対象となっていない。全国の7割の自治体は独自の支援等を行っているが、本市でもできないか。

答 国の基準に対する保育料の独自軽減策として年間3千万円ほど市で負担している。多子世帯の保育料軽減や副食費の免除範囲の拡大など、全国の自治体の取組を参考に、子育て支援対策、また少子化対策としての効果を調査研究していきたい。



子ども達の笑顔あふれる小林市内

生き残れるか地方農業



創生こばやし
舞田 重治 議員



畜産農家の現状と課題

問 畜産の現状と今後の見通しについて、市長の見解は。

答 世界情勢の不安や長引く円安の影響による飼料等の高騰で、どの畜種においても厳しい状況。今後も国県・関係団体と連携を図り、必要な対策を講じていく。

問 輸入や極端な為替相場の変動により、国の税収は上がっているが、牛の価格や農家の所得は減っている。国が保障すべきでは。

答 県選出の国会議員に畜産の現状を話し、要望を伝える必要がある。

問 和牛販売価格と各種支援金の合計額は再生産価格に到達しているのか。

答 到達していない。

問 飼料価格安定制度特例措置の今後の継続は。

答 継続されるものと考えている。

問 牛肉のTTP関税の影響をどう捉えているのか。

答 乳用種・交雑種を中心に長期的な影響が懸念される。不安定な国際情勢や円安で資材価格が高止まりしており、さらなる対策が求められる。あらゆる機会を使って現場の声をしっかり国に届けていくことが重要である。

再生産価格とは、農産物の生産にかかった額を出荷数量で割った金額のこと。いくらで売ればもうけが出るのか把握できる経営指標となる。



宮崎牛のまち

ふるさと納税の状況は



創生こばやし
金松 勲 議員



問 令和元年度から4年度までのふるさと納税額は。

答 令和元年度8億3千万円、2年度6億8千万円、3年度13億8千万円、4年度16億6千万円である。

問 返礼品の種類と登録事業者数は。

答 肉類、フルーツ、菓子など、503品目を取り扱っており、登録事業者数は135事業所となっている。

問 県内での納税額の順位は。

答 令和2年度9位、3年度が8位、4年度7位と少しずつ上がってきている。

問 今後の目標額は。

答 令和6年度は18億円、7年度は20億円を目標としている。

自治会活動の推進は

問 行政推進業務委託料の増額は検討されているのか。

答 委託料については均等割、加入世帯割等により算出しているが、算定根拠について業務内容も含め、区長とも連携を図りながら研究したい。

問 世帯数が減っていく中、区統合の考えは。

答 平均世帯数の約200世帯に対し、一部地域では10世帯を下回る区もある。小林市区長会に設置している専門部会で、区の標準的な世帯数・規模等について検討を進めている。



ふるさと納税返礼品

行政推進業務委託料とは、コミュニティの基礎組織である区・組の運営に係る委託料のこと。



これ、知っちゃった？

今回の「これ、知っちゃった？」は閉会中の議会活動の一つである行政視察について取り上げます。

◆視察先…茨城県石岡市
埼玉県宮代町

農業の担い手確保の取組について

市政にどう活かせるか

・担い手育成は一時の対策でなく今後の仕掛けを常に考えて着実に進める人材の確保と関係課との連携が必要。
・宮代町の新規就農里親制度は、後継者がいない農家が指導者となり、技術指導をはじめ、農地や農機具の借用、人や地域とのつながりも作られており、参考とすべきである。



経済産業委員会



◆視察先…埼玉県ふじみ野市
児童クラブにおける夏休み期間中の給食サービスについて

市政にどう活かせるか

本市で実施するには、財源確保、アレルギー対策、食中毒対策、献立作成システムの改修、集金手段、給食センターの工事・改修との兼ね合い、職員配置といった課題がある。また、児童クラブを利用していない家庭への公平性及び費用対効果等の検証が必要。
あわせて、保護者負担を軽減するだけではなく、「子どもにとって一番必要な支援は何か」を、本市の現状を踏まえて、今後、調査・研究及び意見交換が必要。



◆その他の視察先

埼玉県富士見市

市内小中学校・高校の制服等のリユースについて
子ども未来応援基金の募金箱設置について

市民厚生委員会



◆視察地…福岡県みやま市

みやま市総合市民センター「MIYAMAX」について

市政にどう活かせるか

「MIYAMAX」は各機能ごとにそれぞれの課が運営しており、横断的な協力体制が必要と思われる。また、文化施設として、本市文化会館の将来的な在り方について参考になる施設であった。「MIYAMAX」には、地域公共交通の車両が運行しており、本市も健幸のまちづくり拠点施設と公共交通との連携を図り、双方の利活用を促進すべき。

◆その他の視察先

熊本県荒尾市

おもやいたクシーについて

佐賀県佐賀市

富士しやくなげ湖水上競技場について

佐賀県吉野ヶ里町

吉野ヶ里町文化体育館について



総務文教委員会



plus +

これ、知っちゃった？

行政視察とは？

各常任委員会が選定したテーマに沿って、全国の中で優れた取組、小林市で参考となる取組を行っている自治体に直接行き、自治体の担当者をはじめ、携わっている方々に詳細な内容を伺うものです。

【行政視察までの主なスケジュール】

- ① 5～6月 視察日程及び視察テーマの検討
- ② 6～7月 詳細な視察内容、調査事項の検討
- ③ 7～8月 視察候補地へのアポイント及び行程の検討（9月定例会）
- ④ 10月中 行政視察



視察先が決定した後は、視察当日の調査がさらに深まるよう事前に先進地の取組を勉強し、小林市の状況と比較しながら調査事項を検討しています。

行政視察後は、各委員ごとに調査報告書を提出し、最終的に委員会としての意見をまとめて、委員会審査や一般質問等を通して当局への提案等に生かしています。



私もしたい

僕は鬼がしたい

鬼も豆を食べていいの？

自分の年齢よりも1個多い数だよ

はい、5個ね

お兄ちゃんは8個だからね

ええ～！(>_<)

私は4さい

ありがとう

兄(青鬼)・・・青のふきだし
妹(赤鬼)・・・赤のふきだし
母・・・緑のふきだし

これが我が家の豆まき。もう福が来てます。



「小林市が、そしてみんなが健幸に過ごせますように」季節の分け目の立春の2月。豆まき・終翮(ひいらぎいわし)・恵方巻(えほうまき)。厄払いと祈りを込めて「鬼は外、福はうち」春は一年の始まりで特に大切です。

傍聴者アンケートより

市民の声

12月定例会中の議会傍聴者は延べ48名でした。傍聴者アンケートの中で、「今後も(議会を)傍聴したいですか?」の問いに対し、87.5%の方が「傍聴したいと思う」との回答でした。

【傍聴したいと思う理由】

- ・市の行政施策がわかるのでありがたい。
- ・より多くの市民の傍聴があるとよい。
- ・若者の傍聴の機会が増えると良いのだが・・・。
- ・市政に大いに関心がある
- ・2027年宮崎開催の国スポ・障スポ大会の成功と地元小林市へのレガシーを残していくことを見届けていきたい。
- ・議員の活躍を期待したい。
- ・具体的事由等が分かる(現状の質問とその対応)。
- ・新しい視点からの答弁が聞けることを期待したい。
- ・ライブ配信では感じられない雰囲気があるからです(全般が見れるからです)。
- ・色々な考えも聞きたいと思います。
- ・いつも通り、ライブより直接傍聴の方がよりリアルに感じられるから
- ・傍聴によって現実感があるからです。

議会傍聴に、ぜひお越しください!

※次の議会日程は裏表紙に掲載しています。

語り継ぐ小林の歴史 シリーズ③

須木城と米良筑後守重方 (須木下田地区) 前編

須木城の歴史は、壮大な物語と熱い戦いの記憶で満ち溢れています。舞台は戦国時代、伊東氏の影響下にあった須木地区。須木城は伊東氏48城の一翼を担い、伊東氏の勇壮な武勇と知略を持つ将であった米良筑後守重方は、その城主として領地を守り抜いていました。ところが、元龜3年(1572年)の木崎原の戦いにおいて、重方は激闘の果てに散り、その後を継いだ弟の米良矩重が須木をもつて島津軍に降ったことで、一度は島津氏の直轄地となりました。その後、伊東氏によって、すぐに奪還されていますが、天正4年(1576年)に矩重が寝返ったことで、須木城は小林城とともに島津氏の手に渡りました。



米良筑後守重方の墓(一麟寺跡)

須木城の築城年代に関しては謎ですが、南北朝時代(1336~1392年)に登場する須木城の影は、時代の波に乗りながらその存在を示しています。重方の死後、須木城は時の流れとともにその歴史を刻み、元和元年(1615年)の一国一城令によって廃城となりました。しかし、その存在と戦いの記憶は須木地域に息づき、一麟寺跡に残された重方の墓が、彼の勇姿を後世に伝えていきます。須木城の勇壮なエピソードは、地域の誇りと歴史の一部として、今もなお脈々と受け継がれています。



須木城の位置図

【あとがき】

執筆にあたり社会教育課の井上誠一主査から須木城についての案内と説明を受けました。歴史背景や人物、山城の造りから見る当時を生きた人々の想いを、歴史を読み解き語られる井上主査の姿が熱かった。日々通る何気ない山道が、語りによって歴史を感じられる取材となりました。

←井上主査から説明を受けている様子が動画でご覧いただけます。



(参考文献：九州の名城を歩く・こぼやしの戦国ものがたり・文化庁 日本遺産ポータルサイト) 取材・編集：鎌田 豊数/堀 研二郎

〇議会への提言・疑問・質問などお寄せください。

〇今回の「はなみずき」で関心のあることや感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。



能勢誠 議員の

イチオシ!!

CROSS CHIT (クロス チット) ウェイトリフティング講座

2027年(令和9年)に国民スポーツ大会ウェイトリフティング競技が小林市にて開催予定であることはご存じですか!?

そこで、小林高校ウェイトリフティング部では、市民向けにウェイトリフティング講座を毎週水曜日18時~同校トレーニングハウスで開催中です。ウェイトリフティングは近年、①肩こりや腰痛の改善につながる。②体質改善や美容に大きく関連する。③誰でもいつの間にかできるスポーツである。などとして、フィットネスクラブ等でも多く取り入れられています。



担当の小林高校 うちのくらかずひこ 内之倉和彦監督は「ウェイトリフティングという競技を多くの方に知っていただき、小林市が掲げる健幸のまちづくり推進に大きく貢献するとともに国民スポーツ大会を盛り上げたい」と抱負を語っていただきました。会場では男女10名ほどの一般の方が基礎的な動きにチャレンジ!!慣れない動きと筋肉痛に耐え、高校生部員からの指導を受けながら楽しく体験されていました。

お申し込みは右下のQRコードから可能です。



←講座の様子と監督へのインタビュー動画がご覧になれます。

ウェイトリフティング講座の申込みはこちらから→



◆次の3月定例会(予定)は

- 開会日...2月27日(火)
- 一般質問...2月29日(木)、3月1日(金)、4日(月)、5日(火)
- 議案質疑...3月7日(木)、8日(金)
- 閉会日...3月22日(金)

◎突発的な事情等により変更となる場合があります。

議会
中継

◎定例会の「本会議」はライブ配信しています。インターネット検索またはQRコードからアクセスしてご覧ください。

小林市議会 動画配信

検索



編集後記

最後までご覧いただきありがとうございます。今回、閉会中の議会活動を「これ知っちゃった?」のコーナーでご紹介しました。行政視察を通じて他自治体の取り組みを調査し、小林市に役立つ施策やアイデアを取り入れ、当局に提案するなど市政の充実に努めています。

今後も「はなみずき」を通してわかりやすく議会活動をお伝えしていきます。

永野 雅己

----- 切り取ってお出してください -----

料金受取人払



差出有効期間
令和7年7月24日まで
(切手を貼らずにお出してください)

郵便はがき

886-8790

(受取人)

小林市細野300番地

小林市役所 議会事務局

広報広聴委員会 行

(はなみずきNo.67 2023.12月議会号)



ふりがな

ご氏名(イニシャルまたはペンネームでも可)

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ()-()-()